

# Monthly Report

- I. 代表理事・業務執行理事が決まりました
- II. 新しい委員会制度について
- III. 平成24年第1回総会報告
- IV. キャンプワークショップ「Jorgi, the Camp!」報告
- V. 日本キャンプ協会への寄付が寄付控除の対象となりました
- VI. Camp Meeting in Japan 2012 報告
  - ・ NCAJ CALENDAR
  - ・ TOPICS

5月26日に平成24年度第1回理事会および総会が行われ、平成23年度事業報告および決算が承認され、新しい理事・監事が選任されました。また、その後に行われた臨時理事会において代表理事(会長)をはじめとする役員が選定され、新しい業務執行体制がスタートしました。

事務局長 金山竜也

都道府県キャンプ協会事務局担当者みなさまへ：県協会内での情報共有を図るため、協会役員の方々への転送をお願いいたします。

## I. 代表理事・業務執行理事が決まりました。

どうぞよろしくお願いいたします。

代表理事	会長	石田 易司	桃山学院大学教授
業務執行理事	副会長	鳥井 信吾	サントリーホールディングス(株) 代表取締役副社長
	副会長	星野 敏男	明治大学教授
	専務理事	金山 竜也	(公社)日本キャンプ協会事務局長
	常務理事	神崎 清一	(公財)日本YMCA同盟ウエルネス事業担当総主事
	常務理事	吉田 大郎	静岡県立朝霧野外活動センター所長

※その他の役員および正会員については、日本キャンプ協会WEBサイト「協会の概要」をご覧ください。

## II. 新しい委員会制度について

公益法人化を経て、協会設立50周年へ向かう日本キャンプ協会のあるべき将来像を示すものとして、昨年度、中期総合計画が策定されました。計画では様々な事業が有機的に結びつき、日本キャンプ協会の社会への訴求力を高めるための方策のひとつとして、これまでの専門委員会体制の見直しが行われています。

検討を重ねた結果、公益法人化によって新たに設けられた業務執行理事と事務局が主導して、迅速で有機的な事業展開を行えるよう、新しい運営委員会制度へ切り替えたいと考えています。これまで専門委員としてお助けいただいたみなさまには「新しい運営委員」として引き続き関わりをお持ちいただき、たとえば、期間を区切って本の編集をすとか、新しいテーマの講習会を開くというように、特定の事業ごとに結集する形でお力を貸していただきたくお願いするものです。

従来の専門委員会制度廃止の背景には、委員会開催にかかる経費(主に委員のみなさんに来ていただくための交通費)を抑えるという大きな目的もあります。現在、事務局職員の削減を含む経費の大幅な節減を図り、多様な収入源の開拓も進めていますが、会員数の減少が予想以上に大きいのが現実です。そこで、いったんこれまでの専門委員会を絞り込み、委員会制度を再構築したいと考えています。

日本キャンプ協会は、人が大きな財産である組織です。そして、それはこれからも変わることはありません。まことに勝手なお願いで恐縮ですが、専門委員のみなさまのお知恵をより具体的な成果に結実させることのできる体力ある日本キャンプ協会を作り上げたいと考えておりますので、事情をご理解いただき、従前以上のお力添えをいただければ幸いです。

公益社団法人日本キャンプ協会会長 石田易司

### Ⅲ. 平成 24 年度第 1 回総会報告

5月26日(土)に平成24年度第1回理事会、総会、および臨時理事会が行われました。

この中で平成23年度の事業報告と決算の承認が行われ、理事・監事の一部が改選されました。また、野澤巖会長が退任となりましたので、臨時理事会において、石田易司(いしだやすのり)が新たに会長になることが決められました。

事業報告書・決算書は 6月1日に WEB サイトに掲載します

平成 23 年度事業報告書

[www.camping.or.jp/h23projectreport.pdf](http://www.camping.or.jp/h23projectreport.pdf)

平成 23 年度財務諸表

[www.camping.or.jp/h23\\_financial\\_statements.pdf](http://www.camping.or.jp/h23_financial_statements.pdf)

平成 23 年度収支計算書(内部管理事項)

[www.camping.or.jp/H23account\\_statement.pdf](http://www.camping.or.jp/H23account_statement.pdf)

### Ⅳ. キャンプワークショップ「Jorgi, the Camp！」報告

5月17日(木)、カナダの Camp Tawingo (キャンプ・タウインゴ)の Jorgi (ジョギー)さんのワークショップ「Jorgi, the Camp！」が国立オリンピック記念青少年総合センターで行われ、32人が参加しました。ジョギーさんはところどころにアイスブレイクのアクティビティを織り込みながら、「キャンプってなんだろう?」「キャンプリーダーってなんだろう?」というお話をしてくださいました。

実は、ジョギーさんはモンゴルでの仕事の“帰り道”に東京に立ち寄って、ワークショップを行ってくださったのです。東日本大震災におけるさまざまなサポートは言うに及ばず、キャンプの国際的なネットワークでは互助互恵の関係が築かれています。今後も、機会をとらえて、さまざまな地域でこのような学びの機会を提供していきたいと考えています。

また、国際キャンプ会議(2014年秋・トルコ)、アジア・オセアニア・キャンプ会議(2013年秋・オーストラリア)、アメリカキャンプ協会年次大会(毎年2月)などの機会をとらえて、ぜひキャンプのグローバルコミュニティに参加してみませんか?(それぞれ詳細が決まり次第、CAMPING等でお知らせします)

本ワークショップの抄録は、6月中旬に日本キャンプ協会 WEB サイトに掲載します。

Camp Tawingo を含むカナダへのツアーを東京 YWCA が企画しています。次ページの案内をご覧ください。



### Ⅴ. 公益社団法人日本キャンプ協会への寄付が寄付控除の対象となりました

公益社団法人への移行に伴い、平成24年4月1日以降の日本キャンプ協会に対する寄付は、寄付金控除の対象となりました。東日本大震災で被災された方々のためのグリーンキャンプをはじめとする社会貢献のキャンプの実施・普及のために、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

郵便振替口座 口座番号：00120-7-66441 加入者名：(社)日本キャンプ協会

※郵便局に備え付けの払込票をお使いください。

#### 確定申告について

この制度で控除を受けるためには確定申告が必要です。寄付の際にお名前とご住所をお知らせいただいた方には、手続きに必要な書類をお送りいたしますので、各自で確定申告をしてください。

制度について詳しくは、国税庁の WEB サイトをご覧ください。



## VI. Camp Meeting in Japan 2012

5月26日、Camp Meeting in Japan 2012が行われました。第16回となる今回は重点テーマ『震災』を設け、日本キャンプ協会が日本YMCA同盟、朝日新聞厚生文化事業団とともに進めているグリーンキャンプのスーパーバイザーを務めてくださっている西田正弘さん(てとてとてとて代表)の特別講演が行われたほか、震災に関連する8題の口頭発表と2題のポスター発表が行われました。実践報告・研究発表とあわせて、16題の口頭発表と5題のポスター発表があり、充実した内容の会となりました。

「グリーン(ワーク)×キャンプ」にできること」と題して行われた特別講演では、子どものグリーン(愛着のある人やものを失ったあとに生じるさまざまな反応)についての基本的な理解や、台湾でのグリーンキャンプを通じて感じたグリーンワークにおけるキャンプの可能性などについて語られました。

グリーンキャンプは日常生活から離れて、同じような経験を持つ子どもたちと楽しんだり、新しい活動にチャレンジすることを通じて、一歩先に進めるちからを身につけることができる可能性があります。台湾でのキャンプで、子どもたちは自分の気持ちを表現しても大丈夫と安心できるほかのキャンパーに出会い、自分を支えてくれると感じられるたくさんの大人に出会ったのではないのでしょうか。そのような経験をする場面として、毎日の心配事から離れて子どもが子どもらしくいられる楽しい空間があり、家族以外の自分を見守ってくれる大人たちがいて、ゆったりとした雰囲気の中で自分のグリーンと向き合うことのできるキャンプには大きな可能性が感じられます。

ご自身の交通遺児としての経験を交えた西田さんのお話には説得力があり、キャンプのちからを再確認することができました。

なお、今回のMIP(Most Impressive Presentation・もっとも印象に残ったプレゼンテーション)は、加藤綾音さんの「三鷹子どもの楽校 福島の子もたちと森の楽校サマーキャンプ～「つくる」を遊ぶ夏季学校～」が受賞しました。福島の子もたちに存分に外遊びを満喫してもらおうと、ひと・文化・自然といった三鷹の地域資源を有機的に結びつけて実施されたサマーキャンプについて紹介され、市民活動、地域活動としてのキャンプの可能性が感じられる発表でした。

加藤さんには賞状と副賞のたき火台(ロゴスコーポレーション提供)が贈呈されました。

特別講演の概要は、CAMPING 148号「Gift for the Next 100 Years」でご紹介します。



東京YWCA野尻キャンプ場80周年記念

## カナディアンキャンプ スタディツアー



東京YWCA野尻キャンプ場80周年を記念して、カナダのキャンプ場を訪ねるスタディツアーが行われます。ふたつのキャンプ場を訪ね、ただ見学するだけでなく、カナダのキャンプ指導者と交流したり、さまざまなキャンプ・プログラムを体験します。体験型のひと味違うツアーです。

日程：9月15日(土)～22日(8日間)

研修地：ティム・ホートン記念キャンプ／キャンプ・タウインゴほか

参加費：265,000円(燃料サーチャージ等が別途必要)

※参加者数によって料金が変わります。詳しくは募集要項をご請求ください。

企画：公益財団法人東京YWCA

問合せ：株式会社トラベルパートナーズ Tel. 03-5645-3700



BUCや各種研修等は日本キャンプ協会WEBサイト内「イベントカレンダー」でもご紹介しています。

# NCAJ CALENDAR

## これまで

5/9	平成 24 年度第 1 回常務会	理事会・総会における分担等を検討
5/9	CONE 安全委員会	出席者：金山
5/17	ワークショップ「Jorgi, the Camp！」	講師：John Jorgensen 氏 参加者 32 人
5/20-21	金環日食 in あさぎり～富士山と見る天体ショー～	@朝霧野外活動センター
5/26	平成 24 年度第 1 回理事会	H23 事業報告・決算の承認
5/26	平成 24 年第 1 回総会	H23 事業報告・決算の承認、理事選任
5/26	平成 24 年度第 2 回理事会（臨時）	代表理事・業務執行理事の選定
5/26	Camp Meeting in Japan 第 16 回キャンプ会議	@国立オリンピック記念青少年総合センター
5/26	課程認定団体指導者研修会	@国立オリンピック記念青少年総合センター
5/27	平成 24 年度第 1 回都道府県キャンプ協会指導者研修会	@国立オリンピック記念青少年総合センター
5/27	体験の風をおこそう「春のキッズフェスタ」（出会いと体験の森へ）	協力：NPO 東京都キャンプ協会

## これから

5/30	第二期 出会いと体験の森へ実行委員会	18 時より@スカウト会館 出席者：幾田
5/31	CONE 理事会・総会	出席者：金山
6/1	CAMPING 147 号 発行	特集「衛生」
6/1	メールマガジン CAMPING News vol.52 発行	
6/15	CONE 安全委員会	出席者：金山
6/16-17	長期キャンプ指導者研修会（第 1 回）	@朝霧野外活動センター
6/18	CAMPING 編集会議	18 時半より@国立青少年総合センター
6/22	メールマガジン CAMPING News vol.53 発行	

## TOPICS

### 子どもゆめ基金

## 「体験の風をおこそう」運動を推進する助成活動の募集

子どもゆめ基金では、「体験の風をおこそう」運動をより推進するため、その推進月間である 10 月以降に実施する活動に対し、助成活動の二次募集を行います。

### スケジュール

6 月 1 日(金)	二次募集受付開始
6 月 29 日(金)	二次募集締切（当日消印有効）
8 月上旬	内定通知発送、交付申請書受付開始

詳しくは「子どもゆめ基金」の WEB サイトをご覧ください。 <http://yumekikin.niye.go.jp/>

## 出会いと体験の森へ「キャンプリーダー交流塾」追加募集

第二期の「出会いと体験の森へ」の事業は、大学生世代の若手リーダーを対象とした交流塾です。座学と春・秋 2 回のイベントでの実習を通して、団体の枠を超えた交流が生まれます。すでに事業はスタートしていますが、追加募集を行います。要項をよくお読みのうえ、若手リーダーの参加をうながさせていただきますよう、よろしくお願いいたします。

「リーダー交流塾」実施要項 <http://www.camping.or.jp/2012kouryujuku.pdf>



公益社団法人日本キャンプ協会 Monthly Report vol.2 2012/05/30

発行者：公益社団法人日本キャンプ協会 事務局長 金山竜也

お問い合わせ・電話：03-3469-0217 e-mail: ncaj@camping.or.jp



Monthly Report vol.3 は 6 月 25 日(月)の発行を予定しています